



第2弾 インド人材 現地視察ツアー



『まだ早い』と思う今こそ、チャンス。次の一手を見極める旅へ。

新たな人材確保の選択肢として、茨城県は世界一の人口大国インドに着目しています。

『まだ早い』と考える今こそ、リスクを抑えて『次の一手』を準備する最適な時期です。

本ツアーでは、北東部と南部の教育環境を直接確かめ、自社に合う地域への理解を深めます。

競合に先駆けて未来のパートナーシップを築く、その確かな一歩を、私たち県とともに踏み出しませんか。

2026年
2月4日～9日
先着10社限定！

point
1

インドの中でも特徴の異なる
北東部と南部の2地域の人材を比較できる！

point
2

日本語のほか日本文化や5S教育など
日本向け教育の最前線をチェックできる！

point
3

製造業等で送出実績が豊富な機関を厳選訪問
日本語で会話可能なパートナーと効率よく出会える！

参加資格

- 県内企業に対し、外国人材の受入支援を行っている監理団体・登録支援機関
- 技能実習生の受け入れに興味がある県内企業

参加費用

渡航費用、宿泊費、食事代等の実費は参加者のご負担となります。
(35万円程度～の見込み)

主催

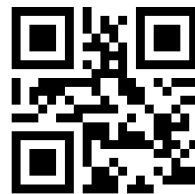
茨城県労働政策課・茨城県外国人材支援センター
お問い合わせ先：茨城県外国人材支援センター 担当：碓（いかり）



茨城県外国人材支援センター
029-239-3304

お申し込み方法

- ①右記QRコードから参加申込書をダウンロードしてください。
- ②参加申込書に必要事項を記載いただき、次の提出先までお送りください。



メール info@ifc.ibaraki.jp

FAX 029-239-3305

郵送・持参

茨城県外国人材支援センター 担当：碓（いかり）
〒310-0851 水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館 分館1階
申込締切：1月9日（金）午後5時まで！

※ 定員になり次第、受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
お送りいただいた個人情報は、本事業及び関連する事業の活動以外には使用いたしません。

視察行程

2/4（水）	【移動】デリーへフライト・インド入国（11:45羽田発 JL39便）
2/5（木）	【移動】北東部・ナガランドへフライト（6E5187便） 【訪問】ARMSナガランド（北東部）視察
2/6（金）	【移動】チェンナイへフライト（コルカタ経由・6E6155便、6E234便）
2/7（土）	【訪問】日本エデュテック視察（午前） 【訪問】チェンナイ市内視察（午後・チェンナイ州立博物館等） 【移動】デリーへフライト（6E613便）
2/8（日）	【訪問】ニューデリー市内視察（世界遺産クトゥブ・ミナール等） 【移動】日本へフライト（JL30便）
2/9（月）	【移動】日本に帰国（6:40羽田着）



視察先の送出機関について

- 在インド日本国大使館の紹介先で、日本への豊富な送出し実績やノウハウを有する送出機関2箇所をご案内します。
- 視察のほか、ご要望があれば送出機関と条件等の相談も可能です（日本語で会話可能です）。

ARMS

愛知県発の日本企業。顔立ち・文化・食事などの面で日本に馴染みやすいインド北東部人材に強み。

日本
エデュテック

チェンナイ発の送出機関。社長は日本勤務歴のあるインド人で日本語堪能。技術力優秀な南部人材に強み。

留意点

- ホテル、航空券、パスポート、査証（VISA）、海外旅行保険は、ご自身で手配をお願いします。**インド入国には査証が必要となります。なお、参加者には、ご自身で査証申請をしていただく方法をまとめた資料をお渡しいたします。
- 参加者が**希望される場合には、県側が利用する旅行代理店の窓口をご案内いたします。**上記1の手配（パスポート以外）をまとめて同代理店に依頼することも可能です（一定の手数料が必要となる場合があります。なお、他の代理店を使用又は代理店を通さずに手配いただいても差支えありません）。
- VISA申請に必要な招聘状は、県が手配します。なお、招聘状の手配及び、PAP（※）に必要なため、参加申込書に添付いただいた書類を事務先（ARMS社）に提供いたします。予めご了承ください。
- 現地での車両は、県が手配します。
- 県同行者が使用するホテル及び航空便は、参加をご検討の方へ個別にご案内いたします。インドで他の用務がある等により、別ホテル・航空便（日印間）を使用いただいても差し支えありません。ただし、インド国内線の航空便については、訪問スケジュールの都合上、上記行程と同じ便を手配願います。
- 県同行者と別のホテルを手配する場合、各日の集合時間や場所は別途ご案内いたします（専用車手配の都合上、原則県同行者の使用するホテルに集合いただく見込みです）。
- 県同行者と別のホテルを手配する場合、現地の交通渋滞を考慮し、できる限り県同行者の使用ホテルに近いホテルをお手配されることをお勧めします。

※ PAP：視察先である北東部・ナガランドに入域するために、VISAとは別に必要な入域許可。事務先のARMS社において代理申請予定であり、申請手数料（2,700ルピー≒5,000円程度）を要するため、費用の精算については、別途ご案内いたします。